

光沢のある素材の色修正

◆今回協力してくれた、新潟県の
稻村ドライ・稻村公一さん

◆今回協力してくれた、新潟県の
稻村ドライ・稻村公一さん

さて、今回、協力して
くださるのは、稻村ドライ
の稻村公一さん。

す」と、技術に加え、工場の中のスタッフの力を大事にしている会社です。

まで見つけ、シミ抜きで程にハネられてしまいます」と、稻村さん。それにも丁寧に対応しているからこそ、稻村さん。ドライさんの評判がいいのでしょうか。「本当に」のようです。『針の穴』程のシミ抜きを見つけているのですと、コメンツをいたわった稻村さんに、スタッフへの信頼と愛情を感じました。

さて今回の色修正は、

▼赤っぽ
場合には
をかける

A black and white portrait of a man with dark, wavy hair, wearing a white collared shirt. He is looking slightly to his left.

\Rightarrow  =

ので、これから的是非販賣な時代には、ますます注目されですね。

薄い緑色で微調整して完了

か。色修正には二つのパターンがありました。
一つは、脱色箇所が地色と同じ色のまま薄くなっているパターン。もう一つは、脱色箇所が地色と違つて色になつて脱色しているパターン。

薄い緑色で微調整して空

その通りですね。スレーブには松井化成さんの色素回復剤が、私が今まで使った中では、もっとも効果のあるモノでした。参考にしてください。

のあるグラウスが、赤っぽく脱色してしまったケースです。

箇所が赤っぽくなっている場合は、赤っぽくなっていると「青」をかけ、青っぽくなっていると「赤」をかけるのが基本でした。

今回は、赤っぽくなっていますから、「青」をかけることになります。赤っぽく脱色した部分を、稻村さんは、基本通

筆で慎重に色をかけて
いらっしゃいます。
はい、でもあがりまし
た。まったく分かりませ
んね。厳密には、微かに
赤みが残っていたので、
最後に薄い緑色で微調整
したそうです。

今回の色修正は、光沢のあるブラウスが赤っぽく脱色したケース



筆で慣習に、薄い青をかけしていく

ハートさんでもできる!!

DCC 代表
山崎 勝



できあがり

